

9 「何もしていない子」が高校生になると急増 — 高校生の学校外教育活動



Benesse 教育研究開発センター 研究員 佐藤暢子

スポーツ・芸術活動をしている子のほうが勉強もしている

第8章でも触れたように、中学から高校に進学すると、学校外教育活動を行う子どもの数はぐんと少なくなります。スポーツ活動についてしてみると、中3生で63.0%だった活動率が、高1生では49.8%となります（図9-1）。芸術活動についてはほぼ横ばいですが、もともとスポーツや学習活動に比べて活動率は低く、高1生で34.4%にとどまります（図9-2）。

高校生になると、難しくなる勉強に時間を割く子どもが増えるために、スポーツをやめてしまう子どもが多くなる、と思われる読者もいるかもしれません。しかし塾・教室に通う率や家庭学習教材などに取り組む割合も、中学生から高校生になる段階で大きく減っています。塾・教室に通う率は中3生で65.3%ですが、高1生では36.8%、家庭学習活動は75.3%から53.5%と大きく減少します（図9-3、図9-4）。

スポーツをしている高校生とそうでない高校生の塾・教室へ通う率をみてみたところ、スポーツをしているグループは45.1%で、していないグループを12ポイント上回っていました（図9-5）。また、家庭学習を行っているかどうかを比較してみても、スポーツをしているグループのほうが上回っています（図9-6）。

本報告書の「解説・提言1」の表A-1に示されたように、中学生では家庭学習、塾・教室、スポーツの3つの活動を行っているパターンが全体の4分の1近くにも及ぶのですが、高校生では10.0%に減ります。高校生の場合、いずれの活動も行っていない子どもが12.4%と、もっとも多くなっていますが、中学生では2.8%にすぎません。高校生になると、学校外教育活動パターンのばらつきが大きくなります。

進学の高い親はスポーツ・芸術活動の効用も認めている

今回の調査では、母親が子どもにどの学校段階まで進学してほしいのかをたずねた項目があります。「お子様をどの段階まで進学させたいと思いますか」という質問に対し、「高校まで」と答えたグループのスポーツ活動率は44.5%ですが、「四年制大学・大学院まで」では52.4%と上回っています（図9-7）。親から強い進学期待を受けている高校生のほうが、よくスポーツをしています。このような傾向は、芸術活動においても同様です。

子どもの運動やスポーツに関する母親の意識をみたところ、子どもへの進学期待が高い親ほど、それらの活動を肯定的にとらえている傾向がありました。

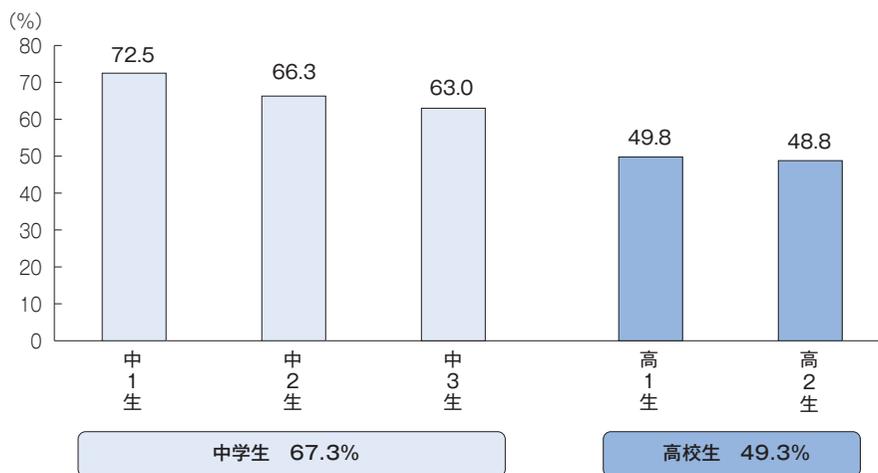
たとえば、「子どもにとって運動やスポーツは必要だ」、「運動やスポーツを通して子どもが成長している」という考えに対して「とてもそう思う」と答えた母親は、子どもへの進学期待が「四年制大学・大学院まで」の場合、「高校まで」に比べてそれぞれ6.1ポイント、8.5ポイント上回っています（図9-8、図9-9）。芸術活動においても同様に、進学期待が高いほど肯定的な回答が多くなっています（図表省略）。

「何もしていない子」の増加が示すように、中学生から高校生になって学習、スポーツ、芸術活動のいずれにも取り組んでいない子どもが増えます。これら以外の、何か打ちこめることをもったり、深く思索するような時間をもてたりしているのか、少し気がかりです。高校生が目標をもって何らかの活動に取り組み、成長実感がもてるようにするために、大人からの働きかけも必要であるといえるかもしれません。



(1) 高校生になるとスポーツ、芸術ともに活動率は低下する

図9-1 スポーツの活動率（中学生・高校生・学年別）



注 スポーツの活動率は、「この1年間で、お子様が定期的に行っていた運動やスポーツはありますか」という設問に対して、「その他のスポーツ」も含む26の選択肢のうち、いずれかを選択した%。

図9-2 芸術活動の活動率（中学生・高校生・学年別）



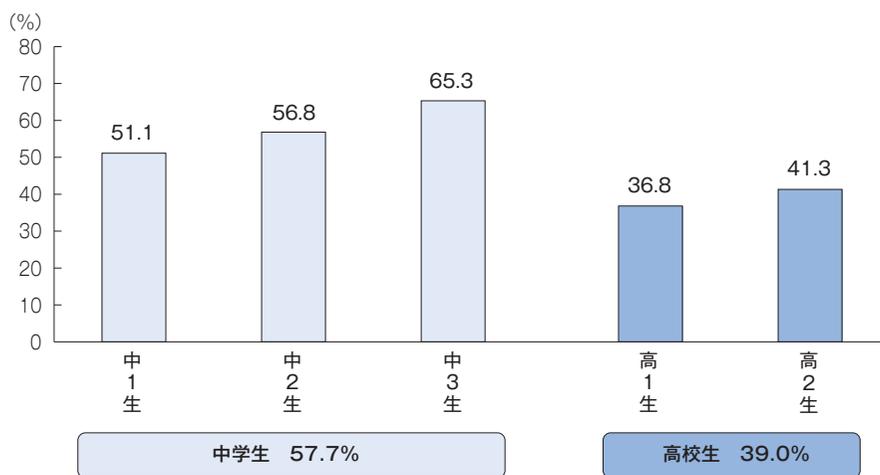
注 芸術活動の活動率は、「この1年間で、お子様定期的に行っていた音楽活動や芸術活動はありますか」という設問に対して、「その他の音楽・芸術活動」を含む14の選択肢のうち、いずれかを選択した%。

高校生と中学生の、スポーツ、芸術活動の活動率を比較しました。スポーツは、中1生が72.5%と、7割を超えていますが、中2生、中3生と徐々に低くなります。そして、高1生になると、49.8%と、中3生よりも13.2ポイントも低くなります（図9-1）。

芸術活動は中学生34.1%、高校生35.0%と、あまり変化はありません（図9-2）。高校生では、高1生34.4%、高2生35.6%と、どちらも3割台にとどまっています。

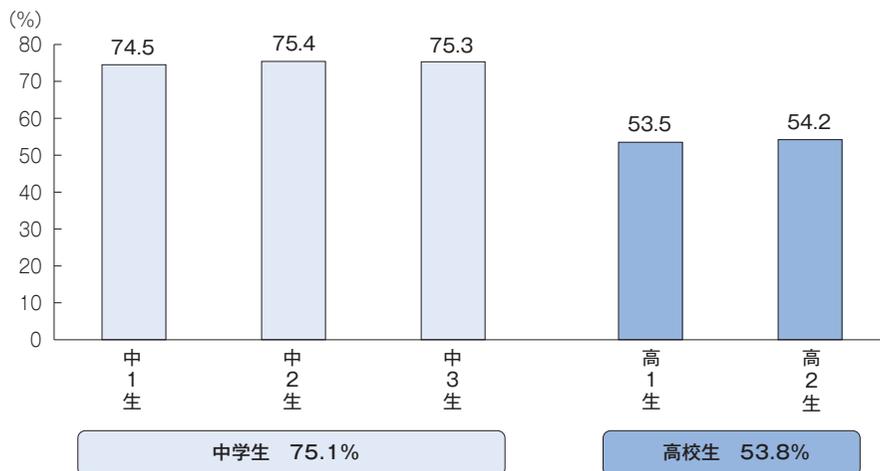
(2) 家庭学習、家庭外学習ともに活動率は大きく減少する――

図9-3 教室学習活動の活動率（中学生・高校生・学年別）



注 教室学習活動の活動率は、「この1年間で、お子様が定期的に通っている塾・教室はありますか」という設問に対して、「その他の塾・教室」を含む15の選択肢のうち、いずれかを選択した%。

図9-4 家庭学習活動の活動率（中学生・高校生・学年別）



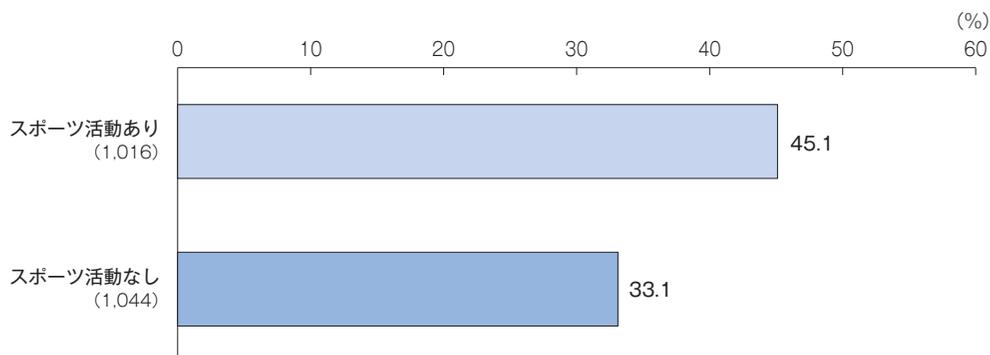
注 家庭学習活動の活動率は、「この1年間で、お様が家庭でしている学習方法や使っている教材はありますか」という設問に対して、「その他の学習方法・教材」を含む10の選択肢のうち、いずれかを選択した%。

高校生は塾・教室など、家庭外での教室学習活動をどのくらい行っているのでしょうか。中3生の65.3%に対し、高1生は36.8%と、28.5ポイント低くなっています。平均をみても、中学生より高校生のほうが18.7ポイント低くなっています（図9-3）。

家庭学習活動も教室学習活動と同じ傾向があります。中学生はどの学年も活動している生徒が7割を超えますが、高1生は53.5%、高2生は54.2%です（図9-4）。スポーツや芸術活動だけでなく、学習活動についても、高校生は中学生より活動率が低下しています。

(3) スポーツをしている子のほうが勉強もしている

図9-5 スポーツ活動実施別にみた教室学習活動率（高校生・スポーツ活動実施別）

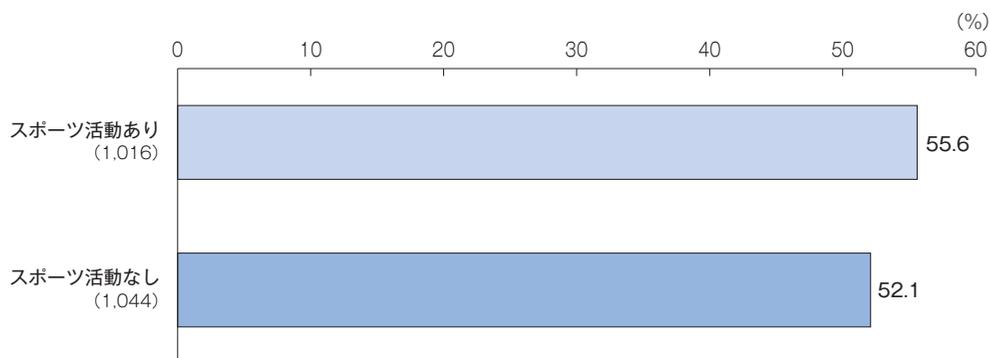


注1 「スポーツ活動あり」は、「この1年間で、お子様が定期的に行っていた運動やスポーツはありますか」という設問に対して、「その他のスポーツ」も含む26の選択肢のうち、いずれかを選択した人。「スポーツ活動なし」は、「何もしていない」を選択した人。

注2 教室学習活動率の算出方法は図9-3と同様。

注3 ()内はサンプル数。

図9-6 スポーツ活動実施別にみた家庭学習活動率（高校生・スポーツ活動実施別）



注1 「スポーツ活動あり」「スポーツ活動なし」は図9-5と同様。

注2 家庭学習の活動率の算出方法は図9-4と同様。

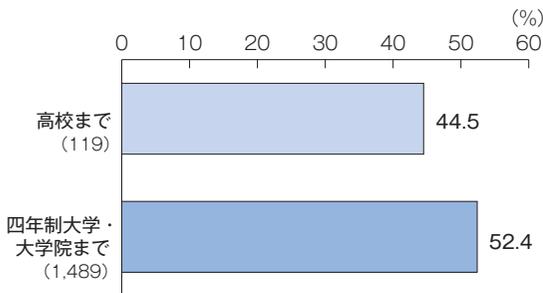
注3 ()内はサンプル数。

スポーツをしている高校生としていない高校生の、学習活動率を比較しました。塾や教室へ通う教室学習活動については、スポーツをしている生徒は45.1%、していない生徒は33.1%と、スポーツをしている生徒のほうが12ポイント高くなっています（図9-5）。

では、家庭学習活動はどうでしょうか。こちらでも、スポーツをしている生徒の活動率が、していない生徒よりも3.5ポイント高くなっています（図9-6）。いずれの学習活動についても、スポーツをしている生徒のほうが、活動率が高いことがわかりました。

(4) 進学の高い親はスポーツの効用も認めている

図9-7 スポーツの活動率（高校生・進学期待別）

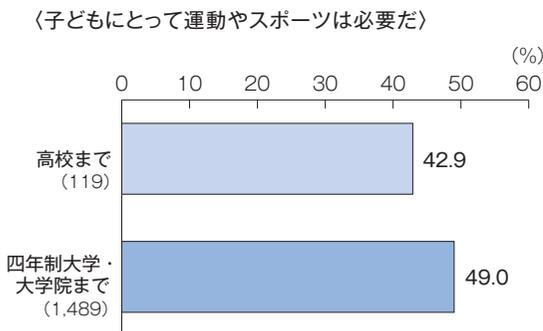


注1 スポーツの活動率の算出方法は図9-1と同様。

注2 進学希望段階は、「将来、お子様をどの段階まで進学させたいと思いますか」という設問に対する回答による。「高校まで」と回答した人を「高校まで」、「四年制大学まで」+「大学院まで」と回答した人を「四年制大学・大学院まで」とした。なお、「専門学校まで」「短期大学まで」「その他」「わからない」については省略している。

注3 ()内はサンプル数。

図9-8 スポーツに関する母親の意識（高校生・進学期待別）

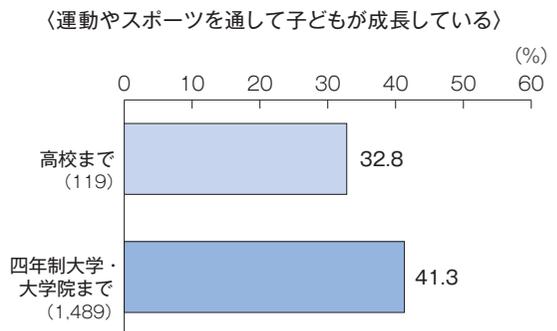


注1 「とてもそう思う」の%。

注2 進学希望段階については図9-7と同様。

注3 ()内はサンプル数。

図9-9 スポーツに関する母親の意識（高校生・進学期待別）



注1 「とてもそう思う」の%。

注2 進学希望段階については図9-7と同様。

注3 ()内はサンプル数。

高校生の子どもをもつ親はスポーツ活動についてどのような意識をもっているのか、子どもへの進学期待別にみってみました。スポーツの活動率は、進学希望段階が「高校まで」では44.5%ですが、「四年制大学・大学院まで」は52.4%と、進学希望段階が高い親の子どものほうが、活動率が高くなっています（図9-7）。

スポーツに対する意識は、「子どもにとって運動やスポーツは必要だ」、「運動やスポーツを通して子どもが成長している」という項目について、「とてもそう思う」と回答した親は、どちらも「四年制大学・大学院まで」を期待する層のほうが「高校まで」より6ポイント以上高くなっており、スポーツ活動の効用について肯定的であることがわかります（図9-8、図9-9）。

親からの進学期待が高い高校生は、スポーツや芸術を通じた成長も期待され、実際に取り組んでいるようすがうかがえます。